

SDGs達成に向けた具体的な取組 (要件2) 【R5.9.5変更】

カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																					
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17					
人権・労働		【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本	年齢・性別・昇進・福利厚生などあらゆる雇用条件で、差別しない体制を構築している。					5.1 5.2 5.5					8.5 8.7 8.8			10.2 10.3									16.1 16.2 16.7
		【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本	ハラスメント禁止に関する従業員に周知している。					5.1 5.2 5.5					8.5 8.8											16.1	
		【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本	毎月、個人の残業時間を集計し、従業員の労働時間を把握し、長時間労働防止に努めている。											8.5 8.8											
		× 【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本	該当なし					4.4						8.7 8.8			10.2 10.3								
		【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本	毎月1回、各現場へパトロールを実施し、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。					3						8											
		【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本	定期的に従業員とミーティングを実施し、業務・人間環境の把握を行い、社内で常に改善に努めている。					3																	
		【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本	就業規則に基づき柔軟な思考で労働への環境整備に取り組んでいる。					5.1 5.5						8.5			10.2 10.3								
		【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本	教育訓練や能力開発セミナーの情報は、全従業員に周知し、訓練の機会を作っている。また、資格取得補助も行っている。					4	5.5					8	9										
		【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本	パートタイム労働法、労働契約法等の内容を理解し、原則に沿った体制を整備している。						5.5					8.5			10.2 10.3								
		【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ	協会けんぽチャレンジ宣言予定					3						8											
		【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本	現場事務所等にて発生した廃棄物の適切分別を行っている。														11.6	12.4		14.1					
		【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本	毎月、現場事務所におけるエネルギー（電気・ガス等）の使用量を把握している。											7.3						13					
		【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本	冷暖房の設定温度管理、照明設備のLED化等節電に取り組んでいる。											7.2 7.3						12.4	13.3				
		【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本	法令で規制されている有害化学物質を把握し、適切な使用に取り組むよう徹底している。					3.9			6.3						11.6	12.4							

カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認語があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																					
15		【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本	環境に配慮した工法や材料を積極的に実施または使用し、生物多様性保全に努めている。						6.6							15				
16		【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本	各現場における積極的な再生資源資材の活用を推奨している。また、産業廃棄物の分別を徹底し、資源ゴミの再資源化に積極的に取り組んでいる。									12.5	14.1							
17		【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ						6.4	6.6											
18	環境	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ				3.9		6	7			12	13.3	14	15					
19		【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ										12.6								
20		【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ							7.2				13							
21		【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ										12.2	13	14	15					
22		【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本	汚職・贈収賄を含む禁止行為を行わないよう社内周知している。													16	16.5			
23		【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本	不正競争行為など、禁止行為を行わないよう社内周知している。													16				
24		【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本	自社及び、各現場や取引事業所の知的財産の保護に努めている。						8.2	8.3	9									
25	公正な事業慣行	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	全従業員のパソコンでセキュリティソフトを導入し、個人情報等に漏洩防止に努めている。													16				
26		【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ														16				
27		【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ					5		8		10	12	13	14	15	16	17			
28		【パートナーシップ構築宣言】(R5.9.5～追加) ・中小企業庁等が推進する「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している	基本	【予定】・中小企業庁等が推進する「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表			3			8	9	10						17			

※「パートナーシップ構築宣言」の作成・公表方法はこちら。<https://www.biz-partnership.jp/>

	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (異などの取得認語があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																					
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17					
29		【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	製品・サービス使用時に想定されるリスクの洗い出しと対策を実施するよう努めている。				3.9								12.4										
30		【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本	顧客からのクレーム対応には迅速に対応し、社内共有を実施するよう努めている。												9										
31		【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ	環境に配慮した工法や材料を積極的に実施または使用するよう努めている。							6						12	13	14	15						
32		【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ	防災・減災、地域の災害復旧などの工事を積極的に受注し、対応している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17					
33	地域貢献	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本	工事施工前に地域の自治会や住民に対して説明会を実施している。また、挨拶まわりも行い、工事日程や生活に与える影響を説明している。					4				9		11	12			14	15	17					
34		【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ	毎年3回、全従業員で地域のボランティア清掃を実施している。					4						11				14	15	17					
35		【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	チャレンジ	工事の下請業者は、地元地域の企業を積極的に利用している。									8	9		11	12	13								
36	組織体制	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内でも共有している	基本	社内懇親会の開催と共に、社内全体に浸透するよう意識改革を図っている。									8	9											17	
37		【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内にも浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本	社内報等を使用し、法令遵守に努めている。																					16	
38		【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本	社内における各部の責任者を明確にし、組織図を作成して体制を整えている。																					16	
39		【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している (※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体)	基本	行政機関、地域社会、顧客と対話し、会議等で情報共有・対策の議論を実施している。																					16	17
40		【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ	毎月月初の全体朝礼でリスクの共有化を行い、従業員一丸となつてリスク対策に努めている。																					16	
41		【社会的責任】 ・CSR (Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任) の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ																						16	
42		【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ	取得予定										9		11			13	13.1					16	
43		【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ	技術者の確保、新規採用、経験者の中途採用を継続して行っている。									8	9											17	

上記以外で設定した取組項目																									
独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17							

【記載留意事項】
・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組を「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。(今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。)
・「非該当」欄については、「チェック項目」が事業形態上(個人事業主等)、該当しない場合にチェックし、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等(※)を取得している場合は、できるだけ、その旨を併せて記載してください。
(※取組いきいきアドバンスカンパニー認証制度、女性の活躍推進企業知事表彰、男女共同参画推進県民会議表彰、障がい者雇用優良事業所等表彰、信州豊かな環境づくり県民会議表彰、長野県技能評価認定制度、NAGANOものづくりエクセレンス認定、信州福祉事業所認証・評価制度、信州リサイクル製品認定制度、信州の環境にやさしい農産物認証制度、長野県原産地呼称管理制度、信州おもてなし大賞、えるぼし認定、循環型社会形成推進功労者表彰、森林認証制度、森林CO2吸収評価認定制度、長野県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など)

○ この「要件2」は、ISO26000(※1)、RBA (Responsible Business Alliance) (※2) 行動規範等を参考に、非財務情報 (SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項) について整理し作成
○ 「SDGsとの関連性」については、各項目について、169のターゲットに直接的に当てはまる場合は**赤字**、間接的 (結果として) に寄与する17ゴールが当てはまる場合は、**赤字**で番号を記載
○ 企業が県へ申請する際には、チェック欄へのチェックとあわせ、「具体的な取組」へ取組内容を記載
※1…組織の社会的責任に関する国際規格 ※2…労働環境、製造プロセスの環境負荷に対する責任を持っていることを確認するための規定